

常設展示

**ヴェネツィア貴族の宮殿を再現
四季の暮らしのご紹介**

各展示室では、季節感を演出し、宮殿そのままの家具調度品や、貴族の食卓を再現したヴェネツィアガラスによる豪華なテーブルコーディネートなどを展示致します。併せて、ヴェネツィアの四季の歳時や行事、旬の話題をご紹介します。
2018年のリニューアルで、マルコ・ポーロの時代をイメージした『書斎』、18世紀頃のトイレや浴槽を再現した『バスルーム』など新たな部屋が加わりました。また、館内全体に家具調度品が増え、「貴族の宮殿」の機能性や華やかな生活、当時の様子がより再現され、さらに充実した展示をご覧頂けるようになりました。

16～18世紀当時の宮殿の機能性の再現をそのままに、四季ごとに展示替えを行ない、貴族の豊かな暮らし、美しいガラスの世界をご紹介します。

春の宮殿



<家族の食卓>



<書斎>

夏の宮殿



<貴族の食卓>



『バラが影る夏のテーブル』

秋の宮殿



<宝の間>



『収穫の秋を象徴するレモンのテーブル』

冬の宮殿



<バスルーム>



<貴族の食卓>
『天使が微笑むディナーテーブル』

特別展

2024年2月27日(火)～6月3日(月)

**<ヴィットリオ・コスタンティーニの世界>
—ヴェネツィアガラスのきらめく息吹—**



長年に渡り、魚をはじめ昆虫や鳥などを題材とした生き物の制作に情熱を傾け、「神業」とも称される繊細でリアルな表現を極めてきたヴェネツィアのランプワーク作家、ヴィットリオ・コスタンティーニ。世界で活躍するアーティストであるコスタンティーニの、収蔵作品数世界一を誇る当館のコレクションを一堂にご紹介致します。

6月4日(火)～9月2日(月)

**<ヴェネツィアガラスの水族館>
—色とりどりに輝く海の世界—**



アルフレード・バルビーニ作
「ガラスの中を泳ぐ魚」

アルフレード・バルビーニ作
「抽象(魚)」

ピノ・シニョレット作
「貝」

ヴェネツィアのガラス作家達は海に囲まれたラグーナの島々で生まれ、幼少期を過ごしてきました。本展では、「ヴェネツィアガラス界の巨匠」と称されるその作家達によって制作された、優れたデザイン性と高度な技術による作品の数々をご紹介します。ヴェネツィアをとりまく豊かな自然から着想を得た色鮮やかで美しい作品をお楽しみ頂けます。

9月3日(火)～12月2日(月)

**<ヴェネツィア レースガラス展>
—ジュリアーノ・パラリンが紡ぐ伝統の美—**



「フランチェスカ」

上『ヴェネツィアの赤』より(ガラス)
下『秋 ひだまりの団樂(だんらん)』より
(鳥須・湯呑み)

16世紀に最盛期をむかえた「レースガラス」は、ヴェネツィアの中でもムラノ島のみで制作され、その制作技法を決して島外に漏らすことを許されない門外不出の秘法として、優れた腕を持つガラス職人のみが代々受け継いできました。本展では、「世界初の試み」として当館がジュリアーノ・パラリンに制作を依頼したレースガラスの和食器や、世界で当館にしかない貴重な作品群を中心にご紹介致します。

12月3日(火)～2025年3月3日(月)

**<ヴェネツィアガラスの巨匠展>
—世界を魅了する至高の芸術—**



アルキメデ・セグーゾ作「女性像」

ピノ・シニョレット作
「戦い」

アルフレード・バルビーニ作
「オーナメント」

ヴェネツィアガラス一千年の歴史の中で、ガラス作家達は時代と共に様々な作品を生み出してきました。本展は、ヴェネツィアガラス界の巨匠アルキメデ・セグーゾやアルフレード・バルビーニ、ピノ・シニョレットなど、ヴェネツィアガラス千年の歴史の中でも特に芸術性の高い作家たちの作品が一堂に展示される貴重な機会となります。伝統技法と革新的なデザインを融合させ、優れた技術により制作された作品の数々をどうぞご堪能ください。

<春の特別展>

詳細が決定次第お知らせ致します。

企画展

<企画展/巡回展>

2F～5Fの各展示スペースにて、特別展よりも小規模な特集展示を実施し、年間を通して収蔵作品を幅広くご紹介いたします。ヴェネツィアを代表する巨匠達が技巧を尽くして作り上げた逸品、伝統技法を昇華させたモダン作品など、様々なヴェネツィアガラスの魅力をご堪能いただけます。

※展覧会の最新情報は、ホームページをご確認ください。

